

平成25年度当初予算 予算要求シート

整理番号	11 - 123	マスタープラン 3つの挑戦	マスタープラン 施策番号	- - - -	局・課名	健康福祉局・環境薬務課
区分	その他一般施策					(単位 千円)

事業名	シンナー・覚せい剤等乱用防止啓発事業		平成23年度決算額	平成24年度予算額	平成25年度要求額
関連事業	事業費	618	717	1,006	
	事業期間	H ～ H	全体事業費		
事業目的	今年度要求のポイント				
シンナー、麻薬、覚せい剤をはじめとする薬物は、乱用すれば生命身体に半永久的弊害をおよぼし、さらには社会的にも重大な弊害を生ずる。近年の薬物乱用の低年齢化と現在違法ドラッグによる健康被害が問題となっていることを考慮し、これらの薬物に対する正しい知識と薬物乱用の危険性を市民（特に青少年）に周知啓発する。		薬物乱用防止教育の必要性を教育委員会と連携しながら訴えている。学校の薬物乱用防止教育に対する関心は高く、広がりが見受けられる。作成した小学生用の冊子を、依頼のあるすべての学校に提供できるように印刷製本費を追加した。			
事業内容	主な要求内容（単位：千円）				
・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動として、大阪府と連携して街頭キャンペーンによる啓発を実施。 ・市内各区で行われる「区民まつり」等でキャラバンカー及びパネル・ビデオ等を用いて主に若年層を中心にクイズを用いた啓発を実施。 ・市内学校での薬物乱用防止教育への後方支援として、授業を行う学校からの依頼により、ビデオ・パネル・薬物標本等を貸し出し、冊子・リーフレットを提供する。また学校等からの依頼により、指導者に対して講習を実施。 ・広報紙、HPでの啓発とともに、パネル展示・横断幕や懸垂幕の掲示を実施。	項目	24年度予算	25年度要求額	内容・積算等	
	研修会等の講師謝礼金	33	22	薬物乱用防止教育講師謝礼金	
	啓発用物品等	636	636	配布物品、リーフレット、啓発冊子等	
	冊子の印刷製本		300	薬物乱用防止啓発小学生用冊子	
	研修会出張費	48	48	東京（薬物乱用防止中堅指導員研修会）	
	その他				
	合計	717	1,006		
スケジュール（経過及び今後展開）			その他 特記事項		
【経過（～24年度）】 平成22年、学校へのアンケート調査を実施。 平成23年度に学校で薬物乱用防止に「関する授業に活用できる冊子を試験的に作成。		【25年度】 事業の継続実施。 小学生用冊子を製本し依頼のある学校へ提供。中学生用冊子を試験的に作成。		【今後（26年度～）】 事業の継続実施。 中学生用冊子を製本。	